



2026 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

当社開発品の進捗状況及びファイナンス実施に関するお知らせ

当社は、臨床試験を実施中の花粉症を対象疾患として開発中の抗体誘導ペプチド FPP004X と皮膚潰瘍を対象疾患として開発中の機能性ペプチド SR-0379 の進捗状況を以下のとおりお知らせします。

・ 花粉症に対する抗体誘導ペプチド FPP004X

FPP004X は、花粉症をはじめとする各種アレルギー疾患の原因となる IgE を標的としたワクチンです。花粉飛散前に投与することでシーズンを通じた症状緩和を期待しており、患者様にとって利便性の高い新しい治療選択肢となることを目指して開発を進めています。

現在実施中の第Ⅰ相臨床試験は、健康成人及び季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）の患者様を対象に、FPP004X 又はプラセボを反復投与（筋肉内投与）した場合の安全性、忍容性及び免疫原性（抗体産生）を主に評価しています。

本試験は 2025 年 3 月から開始し、同年 10 月に被験者への治験薬投与は完了しています。現在は観察期間中であり、2026 年第 2 四半期（4～6 月）に観察期間終了、2026 年下期には試験結果が得られる見込みです。

・ 皮膚潰瘍に対する機能性ペプチド SR-0379

SR-0379 は、褥瘡、糖尿病性潰瘍等の皮膚潰瘍を対象疾患として開発を進めています。

皮膚潰瘍は、皮膚のバリア機能が失われ、創面に多様な細菌が付着しやすくなるため、細菌及び感染のコントロールが重要となります。

SR-0379 は、血管新生や肉芽形成を促進する創傷治癒促進作用に加えて抗菌活性を併せ持つ点が特徴です。また、室温保存が可能なスプレー剤という簡便な投与方法であることから、幅広い皮膚潰瘍患者への使用が期待されます。

現在実施中の追加第Ⅲ相臨床試験（SR0379-JP-SU-02 試験、以下「02 試験」といいます。）は、2021 年 6 月に開始した第Ⅲ相臨床試験（SR0379-JP-SU-01 試験、以下「01 試験」といいます）の事後部分集団解析において、有効性がみられた皮膚潰瘍患者（潰瘍サイズ（長径×短径）36cm²未満）を対象としています。本試験は、SR-0379 又はプラセボを二重盲検下で 1 日 1 回、28 日間投与し、有効性及び安全性を検証しています。

02 試験は 2024 年 12 月に開始し、2025 年 12 月には目標被験者数 142 例の半数にあたる 71 例の登録を完了しました。今後、被験者登録が順調に進んだ場合には、2027 年上期に試験結果が得られる見込みです。

当社の企業価値向上に向けては、現在進行中の上記の 2 つの開発プロジェクトを着実に推進するとともに、新規開発化合物の創出等を通じて開発ポートフォリオを拡充していくことが不可欠です。こ

れらを実現する成長資金を確保するため、この度、ファイナンスを実施することといたしました。詳細につきましては、本日付で公表した「第三者割当による新株式及び第 13 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

今回のファイナンスでは、上場ベンチャー企業の成長支援に豊富な実績を有するグロース・キャピタル株式会社（以下「グロース・キャピタル」といいます。）及びその兄弟会社であるネクスト・グロース株式会社を割当予定先としており、両社の支援のもと、当社の成長に必要な資金を確保いたします。さらに、グロース・キャピタルによる IR 支援をはじめとした企業成長支援活動を活用し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

以上